

## 2002年 第4週 ( 1/21~1/27 )の発生動向

比較は定点あたりの人数による

インフルエンザは引き続き増加傾向

感染性胃腸炎(ウイルス)が引き続き流行中

インフルエンザは、引き続き増加する傾向にあり、前週比約 1.9 倍となった。しかし、過去の平均よりは依然として低い水準である。県内全域から報告があるが、琴平地区を中心に、観音寺、高松地区からの報告が多い。報告患者の年齢層は、10~14歳の割合が、全体の約 1/4 と増加している。本県のインフルエンザウイルスの分離状況は、1/13 日採取の検体より A/香港型が今シーズン初めて分離されたが、全体で、A/香港型が 3 株、A/ソ連型が 28 株と A/ソ連型を中心に分離されている。中四国の分離状況は、A/香港型が 53 株、A/ソ連型が 161 株、B 型が 4 株となっている。

感染性胃腸炎(ウイルス)は、琴平、丸亀の中讃地区を中心に依然として県内全域で流行している。全体の報告数はほぼ横ばいであるが、東讃地区、土庄地区で報告患者数が増加し、高松地区で減少している。

水痘は、県内全域で流行しているが、土庄、観音寺地区の増加が目立つ。土庄地区は流行警報地区となっている。

その他、流行性耳下腺炎は丸亀、観音寺地区で、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、東讃、高松地区、伝染性紅斑は丸亀地区からの報告が目立つ。

## 今週の上位疾患

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	報告の多い地区
感染性胃腸炎(ウイルス)	12.63 人	13.0 人	103.5%	10.85 人	6.99 人	丸亀、琴平、東讃を中心に県内全域
水痘	4.00 人	3.38 人	166.2%	3.23 人	2.34 人	土庄 丸亀 琴平 観音寺
インフルエンザ	1.78 人	2.55 人	191.2%	0.46 人	32.34 人	高松 琴平 観音寺
流行性耳下腺炎	0.91 人	1.28 人	107.9%	1.52 人	1.02 人	丸亀 観音寺
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.84 人	0.78 人	131.6%	0.61 人	0.65 人	東讃 高松

## 病原微生物検出情報

細菌	分離数	検体	検体採取日	地区	病名
c.jejuni	1	糞便	1/15	土庄	急性胃腸炎
S.aureus	1	糞便	1/15	土庄	急性胃腸炎

  

ウイルス	分離数	検体	検体採取日	地区	病名
インフルエンザ A ソ連型	5	咽頭	1/13~1/18	高松、坂出	インフルエンザ疾患
インフルエンザ A 香港型	3	咽頭	1/16、1/18	高松、坂出	インフルエンザ疾患

## 定点医療機関からのコメント

西岡医院(高松市) : インフルエンザ A、B クイック生検で A 型(4)

三好医院(大内町) : インフルエンザ報告 5 例中ラビッドビュー陽性 5 例、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3 例は同一家族

回生病院(坂出市) : インフルエンザ報告は A 型

国立善通寺病院(善通寺市) : 感染性胃腸炎(ウイルス)はロタウイルス(1)、アデノウイルス(2)、感染性胃腸炎(細菌)は病原性大腸菌 VT-(1)、VT 検査中(1)、インフルエンザは A 型(1)、B 型(5)、AB 共に陽性(1)

## 気象通報

第4週の平均気温 : 5.9 (過去の30年の平均気温 : 5.0 )

第4週の平均湿度 : 58.3 %

